

Google Workspace for Education 保護者向けガイド

お子様の学校では、Google Workspace for Education のコラボレーション ツールと生産性向上ツールを使用しています。これらのツールはすべて安全なデジタル学習環境内にあり、お子様の学習の支援や、お子様と学校と保護者の間の連携強化をサポートします。このガイドでは、主要な各ツールの詳細と、お子様の教育への関与を深めて学習を手助けする方法をご紹介します。

Google Workspace for Education とは

現在、Google Workspace for Education は全世界で 1.7 億人を超える生徒と教育者に利用されています。各種ツールは教師のクラス管理をサポートし、生徒の学習と課題への取り組みを促し、学校コミュニティ内のコミュニケーションとコラボレーションを育みます。Google Workspace for Education には、生徒のさまざまな学習スタイルやニーズに対応する [ユーザー補助機能も組み込まれており](#)、よりインクルーシブな教室づくりに役立ちます。

学校での Google Workspace for Education の利用

学校は、教育目的で使用する Google アカウントを各生徒と教師に提供し、これらのアカウントを管理します。また、Google Workspace for Education のコアサービスに含まれていない [追加サービス](#) を有効にする場合もあります。以下に、学校でよく使われている [Google Workspace ツール](#) の一部とお子様による利用方法をまとめました。

お子様を利用するコラボレーション ツールと学習ツール

Classroom	Classroom を使うと、お子様はすべての課題にアクセスし、教師とやり取りし、フィードバックと成績を受け取ることができます。保護者の方は 概要説明メール の配信登録をすることで、お子様の学習状況を常に把握できます。
フォーム	教師は、フォームの教育向けに構築された機能を使ってテストを作成し、生徒の知識を確かめることができます。フォームには複数の質問形式と、ドラッグ&ドロップ式のインターフェースが備わっているので、作成は簡単です。教師は、リアルタイムのインタラクティブな授業、校外学習や課外活動のための情報収集、さらには保護者面談で答えるための保護者からの質問の受付などでフォームを使用します。
ドキュメント、スプレッドシート、スライド	お子様はドキュメントやスプレッドシート、プレゼンテーションを作成したり、他の生徒や教師とリアルタイムで共同作業を行ったりできます。成果物の共有、フィードバックの受け取り、リアルタイムの共同編集が可能です。
ドライブ	ドライブは、お子様のバーチャル通学カバンのように機能します。お子様は課題やドキュメント、カリキュラムを安全に保存、整理し、どのデバイスからでもアクセスできます。お子様の大切なデータと成果物はすべて安全に保存され、失われることはありません。お子様と一緒に、ドライブに保存されている学校の課題や資料などを確認してみることをおすすめいたします。
ユーザー補助機能	Google Workspace for Education にはユーザー補助機能が組み込まれており、お子様はご自身に適した環境で学習することができます。音声入力やスクリーンリーダーの使用、点字ディスプレイの接続が可能で、Google Meet とスライドでは必要に応じて字幕も利用できます。

→ [プライバシーとセキュリティに関する Google for Education の取り組みの詳細をご覧ください。](#)



お子様が利用するコミュニケーション ツール

Google Meet 対面式の保護者面談が不可能な場合、お子様の担任教師は Google Meet を使用してバーチャル面談を設定できます。Google Meet は[遠隔学習](#)にも適したツールで、教師が生徒と実際に顔を合わせることができない場合に、オンラインで授業を実施し、お子様のクラスとやり取りできます。Google Meet には、参加者をミュートしたり強制退出させたりする機能、クラスを管理する機能など、教育者向けの管理機能も搭載されています。

カレンダー Classroom の各クラスには専用のカレンダーがあり、お子様はこのカレンダーを使って今後の予定や期限が近づいている課題を確認できます。また、教師はカレンダーを使って、生徒や保護者との面談用に[予約枠](#)を作成することができます。

お子様のデータが安全に保護される仕組み

Google は、生徒と教師のプライバシーの保護と、学校向けの優れたセキュリティ機能を実現するサービスの構築に全力で取り組んでいます。お子様が Classroom と Google Workspace for Education を使用している場合、Google は生徒のいかなるデータも所有せず、生徒が広告のターゲットになることもありません。また、Google は FERPA¹、COPPA²、GDPR³ などのコンプライアンス基準に対応しています。



プライバシーとセキュリティに関する Google for Education の取り組みについて詳しくは、google.com/edu/privacy をご覧ください。

さらに詳しく知りたい場合は、お子様に質問してみましょう

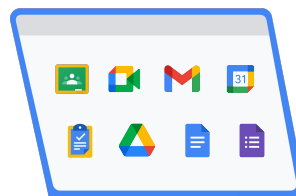
最近どんなグループプロジェクトに取り組んだの？どんなふうに協力したの？

課題はどこで確認できるの？

よかったと思うグループプロジェクトは？どんなテーマだったの？どんなことを学んだの？

家ではどうすれば課題にアクセスできるの？

Classroom は学校の勉強や課題を管理するのにどんなふうに役立つの？



→ 詳しくは、[Teacher Center のトレーニング](#)、[ヘルプセンター](#)、[チュートリアル](#)、[ウェブサイト](#)をご覧ください。

これからの学びでは、ご家庭を支援する Google の取り組みについてもご紹介しています。

¹ 家庭教育の権利とプライバシーに関する法律 (Family Educational Rights and Privacy Act)

² 児童オンライン プライバシー保護法、1998 年 (Children's Online Privacy Protection Act of 1998)

³ 一般データ保護規則 (General Data Protection Regulation)